

TEPIA 第19回展示 『ちえものづくり展 ～社会を豊かにする最先端技術～』

Part- 開催！ [次世代のためのちえものづくり]

2007年8月6日(月)～2008年2月29日(金)

/// 機械産業記念館<TEPIA>(港区北青山)にて・入場無料 ///

TEPIA 第19回展示『ちえものづくり展 ～社会を豊かにする最先端技術～』を開催している、財団法人機械産業記念事業財団<TEPIA> (所在地:東京都港区北青山2-8-44、会長:福川伸次、URL:<http://www.tepia.jp/>)は、来館者からのご要望を踏まえまして、当初の会期を延長し、継続展示の開催を決定しました。

サブテーマも新たに、未来を見据えた先端技術製品の展示を加えた、

ちえものづくり展 PART- [次世代のためのちえものづくり] を 2007年8月6日(月)から2008年2月29日(金)まで、機械産業記念館<TEPIA>で開催します。

匠の技といわれる伝統的に優れた「ものづくり」が高度技術や情報力の結晶である「ちえづくり」と融合して「ちえものづくり」へと進化し、日本産業発展の新境地を拓いている日本の製造業。

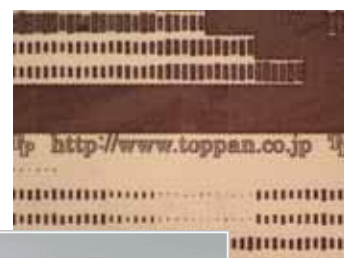
「TEPIA第19回展示」では、この「ちえものづくり」の最前線を、日本製造業の「ちえ」が組み込まれた“製品”と、“製品を作り出すプロセス”の両面にスポットを当てながら、メイン展示として「携帯電話」や「建設機械」、「産業用ロボット」をとりあげて展開してきました。そして、さらに多くの皆様に「ちえものづくり」の最前線をご紹介していくという狙いから、2007年8月6日より「ちえものづくり展Part- 」を開催。[次世代のためのちえものづくり]をテーマに、新たな展示物も追加して展開します。

新たな展示物としましては、

ホログラムの中に、約100ナノメートルの超微粒な文字の埋め込みを実現し、かつてない偽造防止・セキュリティ機能を向上させた

「クリスタグラム ナノテキスト」(凸版印刷株式会社)

耳へのストレスを軽減でき、一部の難聴の方への効果も期待できるという新たな音の伝わりで注目されている“骨伝導”(Bone Conduction)によって、クリアな音世界を味わえる「オーディオボーン」(ゴールデンダンス株式会社)
一般家庭をはじめ、ビルの屋上、学校など様々な場所への設置が可能な超軽量型であり、なおかつ安全性が高く低価格ながら、かつてない発電効率を実現した小型風力発電機「エアドルフィン」(ゼファー株式会社)



クリスタグラム
ナノテキスト



オーディオボーン



エアドルフィン

など、科学技術の進歩やライフスタイルの変化に応じて、これからの地球や人々の暮らしに配慮された先端技術製品を紹介。従来の展示と合わせて、様々な産業技術にみられる“ちえ”を紐解き、新たな“日本ブランド”の立ち上げに貢献することを目指します。

会場では、幅広い年齢層の来場者の方々に、見て、触れて、体感して頂きながら「ちえものづくり」の理解を深めていただくために、TEPIAアテンダントによる解説やデモンストレーションも随時実施して参ります。また、親子で科学を学び、体験できるワークショップなど併催イベント等も予定しています。

本展示の開催概要につきましては、次頁の通りです。

**PART- 展示初日8/6(月)に取材を予定される報道関係の方につきましては、
TEPIA展示広報事務局(ランドジャパン内) TEL:03-5793-3500までご連絡下さい。ご取材の便宜を図らせていただきます。**

TEPIA 第19回展示 開催概要

- 名称： TEPIA第19回展示「**ちえものづくり展 ～社会を豊かにする最先端技術～**」
- 開催趣旨： わが国産業における伝統的に優れたものづくり技術と、近年培われた最先端技術や高度情報技術の融合により新たな発展をみせるわが国 製造業の現状と将来展望を紹介する。
- 会場： 機械産業記念館
- 所在地 ... 〒107-0061 東京都港区北青山2-8-44 TEL:03-5474-6128
- 交通 ... 東京メトロ 銀座線 外苑前駅3番出口下車(徒歩4分)
- 会期： 2006年9月8日 ～ 2008年2月29日
パート / 「身近に探る ちえものづくり」 2006年9月8日 ～ 12月23日
パート / 「社会を支える ちえものづくり」 2007年1月19日 ～ 3月23日
パート / 「未来を創る ちえものづくり」 2007年4月11日 ～ 7月20日
パート / 「次世代のための ちえものづくり」 2007年8月6日 ～ 2008年2月29日
- 開館時間： 平日 / 午前10時～午後6時 土曜・祝日 / 午前10時～午後5時
- 休館日： 毎週 日曜日
- 主催： 財団法人機械産業記念事業財団<TEPIA>
- 後援： 経済産業省、東京都
- 協力： 独立行政法人 産業技術総合研究所
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
社団法人 電子情報技術産業協会
社団法人 日本ロボット工業会
- 入場料： 無料

第19回展示会場内 5つのゾーン概要

【プロローグ】

日本のものづくりの象徴である自動車産業にスポットを当て、「自動車産業革新のちえものづくり史」を展開するとともに、ハイブリッドエンジンシステムの実物展示など自動車の最先端技術を紹介します。

【明日を豊かにする ちえものづくり】

モバイル端末・情報機器、家電・玩具、医療・健康・福祉、安心・安全、環境・エネルギーなどの分野から、身近な生活の中で使われながら高度な技術が活用されている製品の数々を集め、「ちえものづくり」を紹介します。

【生産工程にみられる ちえものづくり】

日本製造業を支える産業用ロボットの性能や役割、そこに駆使されている世界最高レベルの技術を展示・紹介します。この他、建設機械づくりから見える“技術とものづくりの知恵”の紹介や、携帯電話の生産工程にみるちえものづくりなどを展開します。

【元気印の ちえものづくり】

豊かな発想と確かな技術をもち、全国各地で活躍、世界に雄飛する中小企業にスポットを当て、それらの企業が生み出した元気印のユニーク製品にみる「ちえものづくり」を紹介します。

【エピローグ】

展示全体のまとめとメッセージ映像で「ちえものづくり」が日本製造業の未来に極めて重要な取り組みであることを伝えるエピローグとします。製品を生み出した開発者、技術者にスポットを当て、製品に込められた「ちえものづくり」の知恵やこころを彼らの生のメッセージで伝えます。

- ・株式会社アタゴ
- ・株式会社アールエフ
- ・イーメックス株式会社
- ・株式会社生方製作所
- ・株式会社Aiソリューションズ
- ・株式会社エイチ・ピー・アイ・ジャパン
- ・株式会社FC - R&D
- ・岡野工業株式会社
- ・オムロンヘルスケア株式会社
- ・株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ
- ・コマツ
- ・コマツ工機株式会社
- ・ゴールドダンス株式会社
- ・株式会社サンギ
- ・株式会社システム計画研究所
- ・シチズン時計株式会社
- ・シャープ株式会社
- ・新光電子株式会社
- ・株式会社スカイリモート
- ・スピーシーズ株式会社
- ・株式会社スリーディー
- ・正和電工株式会社
- ・ゼファー株式会社
- ・株式会社セガトイズ
- ・セントラル技研工業株式会社
- ・象印マホービン株式会社
- ・多摩川精機株式会社
- ・株式会社テクノリンクス
- ・株式会社テムザック
- ・テルモ株式会社

- ・株式会社東海テック
- ・株式会社東芝
- ・東芝科学館
- ・東芝コンシューママーケティング株式会社
- ・東芝ライテック株式会社
- ・凸版印刷株式会社
- ・トヨタ自動車株式会社
- ・日産自動車株式会社
- ・株式会社日省エンジニアリング
- ・日本SGI株式会社
- ・財団法人日本自動車研究所
- ・社団法人日本自動車工業会
- ・日本電気株式会社
- ・日本ビクター株式会社
- ・根本特殊化学株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・株式会社日立メディコ
- ・兵庫県紙器段ボール箱工業組合
- ・富士重工業株式会社
- ・富士通株式会社
- ・双葉電子工業株式会社
- ・本田技研工業株式会社
- ・松下電器産業株式会社
- ・松下電工株式会社
- ・マツダ株式会社
- ・株式会社松村テクノロジー
- ・三菱自動車工業株式会社
- ・株式会社安川電機
- ・株式会社コピキタス
- ・ローランド ディー・ジー・株式会社

計 / 3団体57社(予定)

〔 財団法人 機械産業記念事業財団(TEPIA)とは 〕

TEPIAは、機械・情報産業の技術的成果を見て、知って、体験いただく場と機会を提供することを目的として、1976年(昭和51年)に設立されました。港区北青山の機械産業記念館1階では、1989年(平成元年)から毎年テーマを定め先端技術の展示を行っています。

同館2階の「TEPIAビデオライブラリー」では、機械・情報産業の先端技術を中心とする映像を無料で視聴することができます。高画質のデジタル映像を中心として先端技術関連作品(約2,800本、随時追加)を自由にご覧いただけます。また、TEPIAビデオライブラリーのホームページ(<http://lib.tepia.jp/>)を通じて約600本(随時追加)の作品を無料でストリーミング映像配信しています。

臨海副都心のタイム24ビル内TEPIAデジタルプラザでは、情報通信の基礎能力を養う情報リテラシー事業(主婦・高齢者や耳や目の不自由な方のパソコンセミナーなど)を実施しています。

〔一般の方からのお問い合わせ先〕

TEPIA第19回展示事務局 / TEL:03-5474-6128 FAX:03-5474-6197 URL...<http://www.tepia.jp/> i mode...<http://www.tepia.jp/i/>

〔報道関係の方からのお問い合わせ先〕

TEPIA第19回展示 広報事務局(ランドジャパン内) / 担当 : 内海、千葉 TEL:03-5793-3500 / FAX:03-5793-3511